

公益社団法人 日本港湾協会における役員選任に関する  
透明性の確保について

1. 公益社団法人 日本港湾協会の目的は、港湾に関する調査研究及び知識の普及、並びに、港湾の整備とその管理の改善に関する事業を行い、地域の振興を図るとともに、我国の国際交流の進展と経済基盤の強化に寄与することにあります。

そうした組織において、常勤の役員である理事長、専務理事はそれぞれ任務を的確に遂行できる十分な知識技能と適確性が特に求められます。

このため、公益社団法人 日本港湾協会では、役員を選任の透明性及び適正化を確保するため、有識者による「役員候補者選考委員会」を設置し、令和2年4月6日、同委員会において役員候補者を評価し、理事会に評価結果を提出しました。

2. 令和2年6月17日開催の定時総会で選任された理事のうち下記2名が、総会の同日に開催された第333回理事会において、以下のとおり役員に選任されました。

- (1) 理事長 須野原 豊(すのはら ゆたか)  
就任年月日 令和2年6月17日  
選定の理由 港湾に関する幅広い知見と国際航路協会本部副会長、日本支部会長を務められるなど国際感覚にも優れており、さらに、管理者として要職を歴任し、必要とされる能力及び経験が十分であり、理事長として適任である。
- (2) 専務理事 小谷野 喜二(こやの よしじ)  
就任年月日 令和2年6月17日  
選定の理由 業務を的確に実施する知能技能とともに管理能力も十分であり、専務理事として適任である。